

ユビキタス社会の実現を目指して！小野町の情報化

現代社会において、インターネットや携帯通信といった『情報』環境の整備は、道路や河川と同じく、あるいはそれ以上に重要な社会資本整備となっております。

町では、情報化推進の諸施策を展開するとともに、これら環境整備の事業主体となる通信事業者に対して、一日も早い町内全域のブロードバンドサービス接続の実現、携帯電話不通話地域の解消などを要請しています。

◎ブロードバンド

サービスについて

現在、72局の大部分の地域で接続可能となっておりますが、73局については、通信事業者が民間企業であるために採算性が重要視されることから、現在検討中とのことですが、町としては一日も早いサービス提供を目指し、通信事業者に要望しています。また、72局地域についても、ブロードバンド接続の中でもより通信速度が速い光ファイバーでの接続を要望しています。

いずれも、通信事業者である民間企業が実施するものである

ため、通信可能な地域を拡大するには加入者数を増やす必要があります。町民のみならずにも積極的な利用をお願いいたします。

◎携帯電話不通話地域について

携帯電話の不通話地域につきましては、災害発生時の重要な通信手段となること、また、最近社会問題化している児童・生徒の登下校時の安全確保に有効な手段となることから、ブロードバンドサービスと同様に通信事業者に通話地域解消の要望活動を行っています。

平成18年度におきましても、不通話地域における基地局の設置が進められました。

今後さらに不通話地域の解消が進むよう通信事業者に働きかけを行ってまいります。

◆問い合わせ

企画課 ☎72-6939



用語解説

▽ユビキタス社会…「いつでもどこでも意識せずに、情報通信技術を利用できること」です。

日本語では「ユビキタスコンピューティング」の略として登場することが多く、「いつでもどこでも、利用者が意識する事無く、コンピューターやネットワークなどを利用できる状態」を指すこととなります。具体的には「カーナビが渋滞状況を把握した上で道案内してくれる」「品物を持ったままコンビニを出ると、自動的に代金が引き落とされる」「自宅に来客があると、携帯電話がそれを知らせてくれる」などの環境がこれに当たります。このような環境を実現した社会を、ユビキタス社会などと呼びます。

▽ブロードバンド…高速な通信回線の普及によって実現される次世代のコンピュータネットワークと、その上で提供される大容量のデータを活用した新たなサービス。光ファイバーやCATVDSLなどの概ね5000kbps以上の通信回線がブロードバンドに。

▽光ファイバー…ガラスやプラスチックの細い繊維でできていて、光を通す通信ケーブル。非常に高い純度のガラスやプラスチックが使われており、光をスムーズに通せる構造になっている。光ファイバーケーブルは、電気信号を流して通信するメタルケーブルと比べて信号の減衰が少なく、超長距離でのデータ通信が可能。また、電気信号と比べて光信号の漏れは遮断しやすいため、光ファイバーを大量に束ねても相互に干渉しないという特長もあります。光ファイバーで実現できる通信速度は従来のメタルケーブルと比べて段違いに速くなります。



インターネットは光ファイバーで楽しもう！

現在の小野町の光ファイバー回線加入率は、約10%です。（NTT東日本調べ）いろいろできる「光ファイバー」で快適な情報生活を送りませんか？

◎光ファイバーを利用してできること（一部利用できないサービスもあります）

- ①高速インターネット インターネットの接続速度が上がります
- ②IP電話 インターネットを利用したIP電話が利用できます
- ③テレビサービス 光ファイバーを通して受信するのでアンテナも不用です
- ④テレビ電話 光ファイバーの高速回線を使用し、テレビ電話も手軽に

※光ファイバーの町内全域の普及には、回線加入率の上昇が重要です！

みなさんも『光』の世界を体験してみませんか!!